

市内の読書好き約500人が集まる「名古屋文学サロン月曜会」から新たに、50、60代向けの読書サークルが4月6日に発足する。若者の活字離れが言われるが、月曜会ではインターネットを通じて若い会員が増え、ちよっぴり敷居が高くなったシニア世代に配慮した。(猪飼なつみ)

### 名古屋文学サロン月曜会



月曜会は二〇〇六年九月に代表の山本多津也さん(四八)が名古屋区一丁目四人でビジネス書を読む勉強会から始まった。今では毎月一回四十一〜六十人ほどが集まる。月に一冊の課題本はドストエフスキーの「罪と罰」や、夏目漱石の「こころ」など、著名でも意外と読んでいない人の多い古典が中心。好きなシーンや感想を話し合う。

### ネット通じ若者増 50、60代に配慮

人が中心の読書会と聞いておきらめてしまう人が多かった。と山本さん。そこで文学好きなシニアのための読書会も用意することにした。現在最年長の米本敏昭さん(六四)が名古屋区二丁目「同じ作品について話し合う」から世代の違いはそれほど感じない。でも、同じ世代の人が入ってこれれば、例えば本に出てきた場所に一緒に行ってみたり、交流の場が広がる」と期待を寄せる。山本さんも「いずれ一緒に読書会を開いて、世代を超えて話し合うことができれば」と願っている。

授業は全六回。木俣さんは、まず第一回「キリスト教の歴史と美術」、第二回「キリスト教の歴史と美術」、第三回「キリスト教の歴史と美術」で、キリスト教の基礎(20)5:00〜6:00。知識やヨーロッパを概観し、解説する。「見えるもの」では全生「キリストの歴史を描く」の著者、須網美由紀さん、愛知きりたんぽ餅店長の小野康さんが講師を務める。第三回、三月三日(日)午後二時から、名古屋区役所に見立てて、情報伝達のシミュレーションをしたりした。緑区の男性会社員(四七)は「外国人は災害時に一層、言葉の壁に苦しむのではないかと、少しでも役に立ちたい」と話していた。



### 立派な介助犬になって



長久手町に建設中の介助犬総合訓練センター(愛称・シンシアの丘)でトレーニングを受けるラブラドルレトリバー種の子犬二匹が二十八日、センターの隣の「平成こども塾」で披露された。昨年一月に誕生した

### 長久手の訓練センター 2家族が子犬引き渡し

雄の「リク」と「リツ」。人間に慣れるため、それぞれ蒲郡市の竹内隆裕さん(五三)と名古屋東区の横井智成さん(四〇)の家で約一年間、一緒に過ごしてきた。性格や健康をチェックするため、施設を運営する日本介助犬協会

「リツ」と笑顔で別れる横井さん家族(長久手町の「平成こども塾」で)

### 災害時の外国人ケア 中村でボランティア研修会

災害時に避難所や役所で困っている外国人の通訳や翻訳をする「災害時外国人支援ボランティア」の研修会が二十八日、中村区古野一の名古屋国際センターであった。写真

に引き渡す際には、両家族が目をはらして方と活躍に期待を寄せた。いっばい抱きしめた。横井さんは「家庭を明るくする存在になるとともに、リツ自身も

「外国人にも避難所のルールを守ってもらうことが大事」と強調。「日本語の説明だけでは外国人が不安がる」と指摘した。この後、参加者はロールプレイングで外国人被災者とボランティア、避難所責任者を

災害時に避難所や役所で困っている外国人の通訳や翻訳をする「災害時外国人支援ボランティア」の研修会が二十八日、中村区古野一の名古屋国際センターであった。写真



ボランティアーなどで地域貢献を推進する愛知淑徳大(長久手町)のコミュニティ・コラボレーションセンターは二十八日、大学周辺で防災イベントを開いた。写真。大学周辺は町南部の新興住宅街にあり、地域同士や学生たちが身近な活動を通して共助

「外国人にも避難所のルールを守ってもらうことが大事」と強調。「日本語の説明だけでは外国人が不安がる」と指摘した。この後、参加者はロールプレイングで外国人被災者とボランティア、避難所責任者を

ボランティアーなどで地域貢献を推進する愛知淑徳大(長久手町)のコミュニティ・コラボレーションセンターは二十八日、大学周辺で防災イベントを開いた。写真。大学周辺は町南部の新興住宅街にあり、地域同士や学生たちが身近な活動を通して共助

有志が企画した。住民約十人参加。拾いに参加する。ボランティアが増える。と話している。その後、



前回までに、消費者のニーズに配慮するため細心の注意を払って名古屋コーチンの飼育に取り組んでいることを紹介してきました。健康的な飼育環境からこそ、健康でおいしい鶏が生まれるということです。

### 名古屋コーチン



い部門を切り離せば、経営は良くなります。ではなぜ一貫経営に徹しているのか。前回も書きました

### 種鶏場社長 稲垣 利幸さん



が、どこか一部に中間業者が入ると、高いマージンを支払う必要が生じます。それに加えて、任せられた業者が採算性を重視し始める恐れがあります。その

結果、肉質が悪くなる。つまり、出来にばらつきがあったり、値段が高くなる。消費者からの信頼は得られなくなり、一貫生産販売に

全国的に知られるようになった。今では東京はじめ各地の料理店で当種鶏場の名古屋コーチンが大勢の人たちの舌を楽ませています。中には「稲垣

安全、新鮮、つまり。とにかく、このことを常に忘れることのないよう確認を重ねて経営に取り組んでいます。

# 生産から販売まで一貫

安全、新鮮、つまり。とにかく、このことを常に忘れることのないよう確認を重ねて経営に取り組んでいます。

前回は、消費者のニーズに配慮するため細心の注意を払って名古屋コーチンの飼育に取り組んでいることを紹介してきました。健康的な飼育環境からこそ、健康でおいしい鶏が生まれるということです。